

平成18年度春季全国大会シンポジウム基調講演の募集について

本会では、毎年、春季全国大会において、溶接・接合工学に関する特定の課題について、シンポジウムを開催しています。来る平成18年度春季全国大会においては、下記の主題の下、シンポジウムを開催いたします。

シンポジウムをより実りのあるものとするため、基調講演を広く募集いたします。

会員各位におかれましては、奮ってご応募下さいませよう、お願い申し上げます。

1. 主 題：「溶接構造物の長寿命化をめざして
～余寿命診断技術・延命技術・補修技術～」

2. 座 長：望月正人（大阪大学）
石川 忠（新日本製鉄株）

趣 旨：溶接構造物の設計・製作・運用においては、その構造物が長期間にわたって安全に、安心して使えるよう、十分な配慮をすることが重要である。特に、溶接構造物の長期使用時に損傷が顕在化するような場合への方策として、余寿命診断技術・延命技術・補修技術を適切に用いることが望まれている。

その中でも、疲労（や腐食）による損傷はこれまでの事例の中でも大きな割合を占め、その対策として種々の卓越した技術が開発されている。また、長年にわたり懸命な努力がなされてきたにも関わらず、必ずしも解決したとは言えず、今後も懸念されうる事象に対して現在も数多くの研究開発が行われているのが実情である。

このような背景を踏まえ、本シンポジウムでは、溶接構造物の長寿命化を目指して、あらためて種々の余寿命診断技術・延命技術・補修技術を取り上げ、最新

の動向を把握するとともに今後の展開について検討したい。すなわち、溶接構造物の長寿命化に対して、材料、設計、施工、検査、維持、保全、倫理、などの観点から議論を深めることによって、今後の社会における長寿命化に対する新しいコンセプトを考えていくことを目指す。

3. 日 時：平成18年4月12日（水）14：10～17：00

4. 場 所：東京ビッグサイト（東京）

5. 基調講演申し込み方法

任意の用紙にタイトル、著者、アブストラクト連絡先をご記入の上、学会事務局に提出下さい。

6. 申し込み締め切り日：平成17年8月31日（水）

7. 講演採否

申し込みいただいた講演は、採否決定次第、お知らせいたします。

8. 前刷原稿提出期日：平成17年11月30日（水）

採択された講演は、論文集第1号（2月号）に前刷りを掲載いたしますので、所定のオフセット原稿用紙6枚以内（表、図、写真を含む）の原稿を作成し、ご提出下さい。なお、講演時間は、1件20～25分程度を予定します。

9. 討論・質問の申込み

講演前刷りをご覧いただいたうえで、討論および質問を募集いたします。積極的に参加いただくことを期待します。

討論・質問の希望者は、対象講演と質問内容を簡潔に記載し、平成18年3月8日（水）までに、学会事務局あて、ご提出ください。